

観音寺中学校 道徳通信 7月号

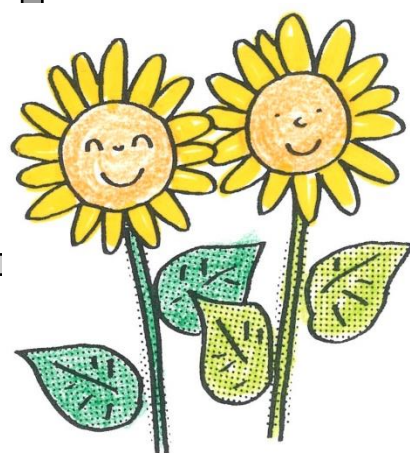
期末テストが終わり、1学期を締めくくる時期になりました。生徒たちは、総体やコンクール等で目標を達成するために日々邁進しながら、授業にも一生懸命に取り組んでいます。

さて、今月は2年生の授業をご紹介します。

嫌われるのを恐れる気持ち【向上心、個性の伸長】

「私」は、他人に嫌われるのを恐れ、自分の感情をいつも隠してしまう。「自分の本性を素直に発揮してこそ、生きがいがある」という言葉に同意しながらも、思っているままの感情を抑えて生きることにも尊さがあるのではないと思う。「私」は、嫌われるのを恐れるということは、ひきょうで臆病な生き方なのかと悩んでしまう。

「私」の悩みを通して、「自分らしく生きるとは、どういうことだろう」とうテーマについて考えました。



○ 授業を通しての感想（生徒記述より）

自分らしく生きるとは、自分の本性を隠さず、自分の思ったように生きるということ。でも、正直に自分の気持ちを言いすぎると相手を傷つけてしまう場合があるから気をつける。	自分の弱みだと思ったことも肯定し、ポジティブに考えて過ごしていくのが大事。自分の強みも弱みも一緒に生きていかなくちゃいけないから、それぞれ向き合うことが大切。
「自分らしく」は「ありのままの自分」みたいな意味だと思っているから、本当の自分を見せるのは大切なことだと思いました。でも、自分の気持ちだけを考えるひとばかりだと世界は上手く回らないと思うから、その時の状況で考えればいいと思いました。	自分らしく生きるとは、必ずしも自分の本性をすべて出す必要はなくて、自分の個性を認めてあげることでも自分らしいと考えました。また、友達の「自分らしさを隠すのはもったいない」という考えを聞いて、自分らしく生きるとは互いに認めあうことが大切だと思いました。
私は、恐れてしまうことも自分らしい、と考えて生きることが大切だと思った。友達の意見に「自分が嫌だ、ということもいい」や「自分の思うままに」があって、とても共感した。自分らしく生きるとは、自分の短所や嫌なところも受け入れて、長所を伸ばしながら生きることだと思った。	私も嫌われてしまうかもなって考える自分が嫌だったけれど、無理に変わろうとしたり、頑張ろうとしなくてもいいんだなとホッとしました。でも、自分を隠すより、本当の自分の方が楽しいしラクだと思うので、これからの人生で本当の自分を見つけ出していきたいと思います。
私も嫌われる事が恐いです。だから、人に合わせてばかりです。でも、これからはもう少し自分の意見を尊重して、自分自身を大切にして個性を少しでも出して、頑張って自分と向き合っていきたいです。	嫌われるのを恐れていること自体は臆病かもしれないけど、それもすべて自分特有で感じるもので、自分らしさのひとつだと感じた。

道徳通信 6月号の返信より

- ありのままの自分を受け入れ大切にすることで他者も受け入れ互いに尊重し合える関係を築くことができます。また、ありのままの自分を自然に出せる環境作りも大切だと思いました。
- ありのままの自分を受け入れてくれる環境ならいいが、それよりも周囲の人との人間関係を優先的に大切にしたいなら、多少の我慢や無理もする事もあるが、それをバランスよく ON と OFF をうまく使い分けられるようになって欲しいです。
- ありのままの自分を見せても大丈夫な人がいることで、すごく気持ちが楽になると思いました。そんな人ができたらいいですね。
- 最期まで幸せに過ごしてほしいという思いが込められた「リクエスト食」には患者一人ひとりに対する強い思いが伝わってきました。この様な相手のことを思いやる取り組みが様々な場面で取り入れられたら素敵だと思いました。
- 一昔前はまわりの方が亡くなることは身近なことではなかったのに、最近では病死する方が増えているように感じます。そういった折に成長期の子供たちが考えるにふさわしい課題だと思いますが、ガンになれば入院して、誰かが作る誰かが考える食事をとると言うのが当たり前の前提で話が進むのはとても残念です。少なくとも、ちょっとした感染症の流行で死に近づいた親族と会うこともままならない状態になることは悲劇でしかありません。もっと別の形で、死に近づいた親族を思いやる課題があったのではないのでしょうか？

ご返信、ありがとうございました♪

ご感想やご意見がございましたら、LEBER（リーバー）のアンケート「返信欄」にてお気軽にご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。